



東北大学病院 軽症病児・病後児保育室 星の子ルーム

今年は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により多くの方が影響を受ける異常な年となりました。罹患された皆様や影響を受けた皆様にお見舞い申し上げますとともに、診療にあたっておられる皆様に感謝申し上げます。軽症病児・病後児保育実務者委員会及び運営委員会はかねてより星の子ルームのより良い運営のための議論を行っていますが、このたびの事態に対しては、臨時のメールやオンライン審議を追加して対応しています。星の子ルームは東北大学病院外来A棟5階にあるので、ここから病院内に新型コロナウイルスを持ち込んだり広げたりすることがないようにしなくてはならず、そのための対策として、多段階からなる受入基準を作成しました。国内や国際的な移動の制限が緩和されるに伴い、感染者が再び増加する可能性が考えられるため、感染者発生状況などをみながら、適切な段階を選択していく予定です。利用者の皆様にご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解いただければありがたく存じます。



石井恵子（医学系研究科感染分子病態解析学分野 准教授）
軽症病児・病後児保育実務者委員会及び運営委員会委員

COVID-19 感染症対策について

星の子ルームでは次のような感染対策を行っております。

- 感染予防のために、1日の利用人数を制限し、扉で仕切った2部屋で、症状別にお預かりします。
- 送迎の際には、保護者が同時刻に集中するのを避けるため、時間差送迎をお願いする場合があります。
- 来室前には親子共に検温を、送迎の際はマスクの着用（お子さまは年齢に応じて）をお願いいたします。
- 感染予防のための受け入れ基準に従い、状況に応じたステップでお預かりします。

- スタッフ自身の体調管理（毎朝の検温）
- 飛沫感染・接触感染対策の徹底（手洗い、手指消毒、接触部位消毒等）



仕切り扉で部屋を二つに分けます。

スタッフは予防衣を着用



現在の受け入れステップおよびステップ変更の場合はホームページ上でお知らせいたします。ご不明な点がございましたら、星の子ルームまでお問い合わせください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

